

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		人権教育推進協議会活動支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連						
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	財津 幸泰					
	施策	21	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名	後藤 章博					
	基本事業	72	人権教育啓発活動の実践			所属班	啓発教育班	(内線)	2427					
予算科目	会計	1	款	10	項	5	目	4	事業連番	-	法令根拠		成果優先度評価結果	-
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 47 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		コスト削減優先度評価結果	6					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	総会・理事会の開催。 各種事業の展開(人権教育研究大会、人権教育指導者育成研修会、出前人権学習会等) 人権問題への理解を深めてもらうことにより、自ら差別をなくす活動に取り組むようになることに結びつく。 同和問題はもとよりあらゆる差別の解消を目的に活動を行なっている。
【業務の流れ】	総会、理事会の開催及び理事会のさいの報償費の用意、各部会への補助金の支出、各種事業(人権教育研究大会、参加体験型学習指導者育成研修会、出前人権学習会等)の実施。事業記録集の作成。
【主な予算費目】	
【意見や要望】	特になし。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
総会・理事会を開催する。各種事業の展開(人権教育研究大会、人権教育指導者育成研修会、出前人権学習会等)を行った。	総会・理事会、人権教育研究大会、人権教育指導者育成研修会、出前人権学習会等を開催する。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
⇒ ア 会議等の回数 回	⇒ イ 参加者数 人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⇒ ア 加盟団体数 団体
人権教育推進協議会加盟団体	⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
人権問題への理解を深めてもらう。	⇒ ア 研修等に参加し理解を深めた人の数 人
	⇒ イ

*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠
 当協議会主催の研修会にどれだけ多くの方が参加をするかが、成果を見る上で重要である。
 目標値は、当協議会が主催する研修会等への参加者延べ人数を設定。

② 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 回		5	4	5	4	7	7	7
	イ 人		173	135	270	198			
⑤ 対象指標	ア 団体		149	146	146	146	145	145	145
	イ								
⑥ 成果指標	ア 人		2864	2383	2800	1305	2800	2800	2800
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円						
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円						
		(A)のうち時間外、特勤	千円						
		正規職員従事人数	人	5	7	5	3	4	4
(B) 人件費	延べ業務時間	時間	1,570	1,282	1,570	800	1,570	1,570	
	(B)人件費計	千円	6,233	5,128	6,249	3,184	6,249	6,249	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	6,233	5,128	6,249	3,184	6,249	6,249	

総トータルコスト
全体計画
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0

0

0

事務事業名	人権教育推進協議会活動支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	-----------------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>研究会の参加が年々減ってきているので、少しでも多くの人に参加できるよう検討していく必要がある。</p>
--

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>多くの方に人権学習会、研究会に参加してもらい、人権啓発を広めていけるようにしなければならない。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>様々な年代や色々な団体から研修会や学習会に参加されているので、それぞれのニーズにあった企画を行っていく必要がある。</p>																						